

「日本栄養士会雑誌」の編集・製作に関する業務委託企業の募集要領

公益社団法人 日本栄養士会

2025 年 5 月 23 日

日本栄養士会で発行している「日本栄養士会雑誌」の編集・製作にかかる業務を委託する企業（業務委託企業）を、以下により募集します。

1. 「日本栄養士会雑誌」の編集方針

食と健康・栄養に関する情報が氾濫する中、管理栄養士・栄養士で組織する専門職能団体である日本栄養士会は、管理栄養士・栄養士および保健・医療・福祉・教育等の分野で連携する関連専門職種（以下「関連職種」とする。）をはじめとして、広く国民に信頼できる健康と栄養・食をめぐる情報をわかりやすく提供する。

管理栄養士・栄養士の基幹的な職責は、国民自らが、栄養と食の科学を日常生活に活かし、健康づくりと疾病の予防・治療・療養に適正な栄養・食事摂取を、自律的に行うことができるよう、栄養と食の科学に基づく保健衛生的、医療的、福祉的なケアをすることである。この職責を果たす一環として、一方では、栄養と食の科学とその実用技術を広く管理栄養士・栄養士および関連職種等の間で共有し進歩させること、そして、他方では、国民にこれらを伝えて共有し普段の食生活の知恵へと育むことが求められる。

「日本栄養士会雑誌」は、弊会ホームページとの連携をとりながら、広く管理栄養士・栄養士および関連職種等との、そして、国民との、栄養と食の科学とその実用技術に関する情報コミュニケーションの場であることから、親しみやすく、わかりやすく、信頼できる専門誌であることを編集方針とする。

そこで第1に、主に管理栄養士・栄養士および関連職種等を対象とする記事を掲載する。食と栄養の科学やこれに基づく栄養・食事指導および栄養食事療法等に関する研究結果、実践事例・症例、管理栄養士・栄養士の業務上、有益な食品や機器その他のツール（特別用途食品、健康関連器具、ソフトウェア等）に関する最新の情報、保健衛生、医療、福祉に関する国の政策・立法の動向に関する情報と資料等を取り上げる。

第2は、国民との、健康と栄養・食に関する情報について豊かなコミュニケーションを育む記事を掲載する。巷には、健康と栄養・食、食養生等に関する記事を掲載した雑誌や書籍が出回っている。国民の目では、どれが信頼できるのか、何を信用してよいのか、にわかには見分けられない状況が顕在している。情報の洪水の中に置かれた国民にとって、正確でわかりやすく、日々の食生活や疾病の予防・治療・療養に生かすことのできる栄養と食に関する知恵や知識へのニーズに応える専門誌であることを目指す。

月刊誌で、年間12冊発行する。また、2024年度から日本栄養士会ホームページに会員限定で「バックナンバーPDF」を公開している。

「日本栄養士会雑誌」の対象読者は、国民、管理栄養士・栄養士、関連専門職、研究者、その他、購読を希望する者とする。

記事の内容は、（公社）日本栄養士会内に編集委員会、企画委員会並びに論文委員会を設け、同委員会にて、栄養と食の科学やこれに基づく栄養・食事指導および栄養食事療法に関し、あるいは、健康と栄養・食に関し、親しみやすく、わかりやすく、信頼できる専門誌としてふさわしい企画を立案し、執筆者を吟味・選定し、編集する。

2. 「日本栄養士会雑誌」の概要

- (1) 英文名：「JOURNAL OF THE JAPAN DIETETIC ASSOCIATION」
- (2) 体裁：A4判、本文54ページ程度、総ページ数64ページ以内、4色
- (3) 発行：毎月1日
- (4) 発行部数：51,000～56,000部／月（2024年度実績）
- (5) 構成
 - ① “わたしと食、食とわたし”、“特集”、“連載”、“トップランナーたちの視点”、“管理栄養士の活動最前線”、“未来へつなぐ風景”、“日栄’s eye（日栄ニュース、霞ガ情報、会長・理事のつぶやき）”、“企業からの最新情報”、“研修会の案内”、“BOOK REVIEW”、“編集後記”等
 - ② “実践事例報告”
 - ③ 情報提供広告
 - ④ 広告

3. 企画・編集等のあり方

「日本栄養士会雑誌」の編集・発行に関する事項の決定は「日本栄養士会雑誌編集委員会」が行う。

- (1) 2(5)の①に関する企画・執筆者の選定等は「日本栄養士会雑誌企画委員会」において行うこととし、編集作業（原稿の確認・校正等も含む）は、「日本栄養士会雑誌」の編集・製作に関する業務委託企業に委託する。
- (2) 2(5)の②に関する審査等は「日本栄養士会雑誌論文委員会」において行うこととし、編集作業（原稿の校正・チェック等も含む）は、「日本栄養士会雑誌」の業務委託企業が行う。

なお、投稿論文等の採用のあり方は次のとおりとする。「日本栄養士会雑誌」は、管理栄養士・栄養士に対して、臨床・実践事例等を発表する機会を広く与える見地から、学術的手法による論文等のほか、今後の管理栄養士・栄養士活動等に有効かつ参考となる症例・実践事例等も積極的に掲載する。採用にあたっては、希有な臨床・実践事例等でも管理栄養士・栄養士が現場において実践する上で参考となる内容であるかについての視点から審査を行う。

- (3) 2(5)の③の広告は、（公社）日本栄養士会賛助会員からの申し出により掲載するが、編集作業（原稿の確認・校正等も含む）は「日本栄養士会雑誌」の業務委託企業が行う。

4. 依頼業務内容

- (1) 「日本栄養士会雑誌編集事務局」業務
- (2) 「日本栄養士会雑誌編集委員会」の開催・連絡調整
- (3) 2(5)の①に関する「日本栄養士会雑誌企画委員会」の開催・連絡調整、編集・校正・製作（デザイン・レイアウト）作業全般
- (4) 2(5)の②に関する「日本栄養士会雑誌論文委員会」の開催・連絡調整、査読者への査読依頼・連絡調整、投稿者との連絡調整、英文校閲、英訳料の管理、論文等指導者の紹介
- (5) 2(5)の③に関する広告の編集作業全般（広告料の管理は、別途、広告代理店へ依頼）
- (6) 2(5)の④に関する広告管理（収集、編集、広告料の管理は、別途、広告代理店へ依頼）
- (7) 印刷・製本（発送業務は除く）
- (8) 「日本栄養士会雑誌振り返り会」の開催・連絡調整

- (9) 「日本栄養士会雑誌」バックナンバーPDF 化・ホームページの運用に必要なデータ、情報の提供
- (10) (1)～(9)に付随する発刊・運営に関する事項
- (11) 「日本栄養士会雑誌」作成・運営に関する助言
- (12) その他、「日本栄養士会雑誌編集委員会」、「日本栄養士会雑誌企画委員会」および「日本栄養士会雑誌論文委員会」から指示のある事項

5. 契約期間

- (1) 対象発行期間 2026年4月1日～2029年3月31日（3年間）
（第69巻4月号～第72巻3月号）
- (2) 編集業務にかかる期間 2025年7月1日～2029年3月31日
ただし、1年毎または随時業務評価を行い、契約の見直しまたは解除を行うこともある。

6. 契約条件

- (1) (公社) 日本栄養士会の「日本栄養士会雑誌」の運営方針に賛同し、依頼内容に同意できること。
- (2) (公社) 日本栄養士会の運営に協力的であること。
- (3) (公社) 日本栄養士会の賛助会員である、または賛助会員になる意思があること。
- (4) 窓口（担当者）を明確にして連絡調整をスムーズに行えること。
- (5) 依頼内容の受託経験、もしくは受託可能な技術・技能を持ち備えていること。
 - ・医学、栄養学等専門用語・内容に精通していること。
 - ・基本的な統計処理・解釈に精通していること。
 - ・適切な図表等を作成できること。
 - ・校正・校閲の専任担当者を配置していること。
 - ・管理栄養士免許取得者が在籍し、編集・校閲作業に携わること。ただし、雇用形態は問わない。
 - ・必要時にはフォーマットデザイン開発も請け負えること。
- (6) 委託業務評価について
 - ・(公社) 日本栄養士会が定める評価指標〔QCDR, Quality (質)、Cost (コスト)、Delivery (納期)、Response (対応)〕に対して双方合意のもと目標値を設定した上で、その達成度を毎号確認することで、適正に業務評価を行うことに同意できること。
 - ・評価の結果、改善すべき点があった場合には、その原因を把握し、迅速に対応策を講じることができること。
- (7) 制作物のデータ管理について
 - ・編集・制作中に生じたデータ（原稿データ、誌面組版データ、誌面 PDF データ等）について、(公社) 日本栄養士会の求めがあった場合、速やかに提出すること。
 - ・最終納品データとして、発行時点での組版データと指定された形式の PDF データを納品すること。
- (8) 契約期間中、安定的なサービスを提供できる体制にあること。
- (9) 会社経営について
 - ・経営が安定していることを示すことができること。
 - ・会社経営の理念やビジョンが社会に貢献できるものであること。

7. 説明会の開催と応募書類の配布

業務委託説明会を次によりオンラインにて開催するので、参加を希望される場合は、別添申込書に記入の上、2025年6月6日（金）までに、「10. 問合せ先」へ E-mail にて送付すること。期限までに申し込みのない場合には、説明会への参加はできない。

応募に関する書類は、説明会参加企業にのみ、当日配布を行う。

- (1) 日時： 6月11日（水）
- (2) 場所： Web 会議室（会議 URL は参加申込があった企業にのみ通知）

8. 提出期限と提出書類

応募される場合には、2025年7月2日（水）までに、下記書類を各10部揃えて、書類提出先まで提出すること。

- (1) 会社概要
- (2) 依頼内容に相当する貴社の業務実績
- (3) 依頼内容に対応する体制（担当者およびその体制、管理栄養士の氏名、外部委託が発生する場合には、委託先も報告のこと）
- (4) 「日本栄養士会雑誌」の内容および受託業務に関する貴社提案事項
- (5) 依頼内容の業務にかかる費用見積書（1号当たりで算出）
 - ・ 総ページ数・発行部数：56 ページ・51,000 部
 - ・ 仕様：A4 サイズ・無線綴じ
 - 表紙（表 1～4） 5C（4C+マットニス引き）+4C トップコートマット 93.5kg
 - 本文 4C+4C 64 ページ マットコート 38.5kg
- (6) 「日本栄養士会雑誌」用紙部数別価格一覧
 - ・ 47,000 部～57,000 部
 - ・ 表紙
 - ・ 本文 64 ページの場合、56 ページの場合、52 ページの場合、48 ページの場合

9. 審査

- (1) 日本栄養士会に設置された選考委員会において、審査を行う。なお、委員会は非公開で行われ、選考過程に関する問い合わせには応じられない。
- (2) 審査においては、提案内容について説明の場を設定する。
- (3) 審査にあたっては、以下の視点から評価し、総合的に判断する。
 - ① 実施体制（管理・業務執行体制）
 - ② 実績
 - ③ 実施の確実性
 - ④ 価格の適正さ
 - ⑤ 提案事項の妥当性
- (4) 審査結果については、採択された企業等に対して文書で通知する。なお、不採択理由についての問い合わせには応じない。

10. 問合せおよび書類提出先

公益社団法人 日本栄養士会事務局（担当：小泉、岩楯）

〒105-0004 港区新橋 5-13-5 新橋 MCV ビル 6 階

Tel : 03-5425-6555 Fax : 03-5425-6554 E-mail : kikaku-koho@dietitian.or.jp